

〇〇教諭、授業をふりかえる

校内研だより 支援級ブロック

= 発行者 =
支援級ブロック
〇〇・〇〇・〇〇・〇〇・〇〇・〇〇・
〇〇・〇〇・【希望参加】〇〇・

支援級ブロックの目指す児童の姿
は「進んで課題に取り組む」。
その姿を目指した手立てに迫る。

リーダーチャート
使ってみました！

〇〇先生のお話から

「支援を要する子どもたちにとっ
て、学び合いは難しい。

リーダーチャートを取り入れた
ことは有効的なのところもあり、子
どもたちも『はまった』のではな
いかと思う。それぞれの子どもた
ちの実態に合った課題も設定し、
リーダーチャートに反映すること
ができた。

ただ、その後の子どもたちの様
子を見てみると、実態として、
子どもたちに持続力がないため、
少し飽きている様子も見られる。
今後も個々に合った学びを重ね
ていきたい。」

《実際のリーダーチャート》

子どもの興味を
高めるデザイン！

一方で、こんな
問題も…。

支援を要する児童にとっても、こ
のような視覚的にとらえられるワ
ークシートは有効である。
ただ、ワークシートの特性をとら
え、自分のものとして活用できるた
めにはそれなりの発達段階が必要
である。児童の実態に合わせたワ
ークシートの作成も大切である。

進捗状況、達成感
を可視化！

個々の実態に合った
めあて設定

子どもたちの成長

安心感の
中で…

子どもたちの
特性を理解した
教師の声かけ

標準をつくらない
ゼロプレッシャー
多様な認め方

友との協働
環境が子どもたち
を育む

C1「(課題) やらないの？」
C2「(Tに) むずかしい問
題ないの？」
T「待ってました！」

教師が子どもたちの弱いところ
(できないところ)も徹底的に認める

最後にお聞きします。研究協議を通し
て、授業者として見えてきた成果と課
題とは何ですか？

〈成果〉

名人カードを使ったことで、一つだけでなく複
数の内容に取り組む姿が見られた。本時ではない
が、つまづいている児童のつづやきを隣の児童が
拾い、拾った児童のつづやきで答えが分かったと
いう姿も見られた。

〈課題〉

「自閉傾向の強い児童は、ルーティーン的な内容
の方が安心する」など特性の理解を深め、より個
に合った指導ができるようにしたい。

支援級の授業も
学びがいっぱい！